令和元年度 豊橋市特別職報酬等審議会 会議録

日 時 令和元年 11 月 5 日 (火) 午後 2 時

会 場 第 3 委員会室 (西館 8 階)

委員定数 7 人

出席委員 7 人

会長 　　ただ今から、令和元年度特別職報酬等審議会を開催いたします。それではまず、資料説明について、事務局から説明をお願いいたします。

人事課長補佐 資料 1～5、8 説明

議会事務局 資料 6 説明

財政課長補佐 資料 7 説明

会長 　　今の報告を受けて皆様から意見あるいは質問を自由に出していただいて、市長・副市長それから議員の報酬についてそれぞれご意見をまとめていただきたいと思います。

委員 　　資料 8 の「市民の認識」について、過去 3 回の調査結果の比較とありますが、評価というのはどういったものですか。

人事課長補佐 　　今年度と来年度にかけて、豊橋市の第六次総合計画を策定する際に、1 つの参考とするものです。こういった数字の他、第五次総合計画の中でも目標数値として定めているものがありますので、それらと合わせて、次の政策をどういう風にしていくのかという時の判断材料の 1 つとさせていただくものになっ

ています。

委員 例えば医療の充実の項目ですが、何に対して充実しているのか、という客観的な選択項目があるのですか。それとも計画の目標指数があつて、それに対して進んでいるか、進んでいないかというのですか。

人事課長補佐 医療の充実の項目をそのまま読み上げます。「医療機関の役割分担と連携、救急医療や高度専門医療の充実など医療体制の強化が図られ、市民が安心して医療を受けられる地域になっている。」という質問項目に対する市民の評価というものの数値になっております。

委員 それに対して、感じられるか感じられないかというのをアンケートに答えるということですね。

人事課長 無作為に抽出された市民の方が、自分の感覚として回答しています。

委員 感覚として答えた数値がこれということですね。感じられたから40%とか、そういうことですね。

委員 年齢構成として、若い人が多いのか60代が多いのか。

人事課長 各データを分析しているんですが、今日こちらには全部は無いですが、各年代別にすべて集計して取っています。

委員 では偏りはないですね。

人事課長補佐 例えば、医療の充実のところだと、20代のアンケート結果

では、過半数以上から良い評価をいただいております。一方、50代では40%ちょっとが、肯定的な評価をしております。

このような年代による違いがあります。

委員

資料8の表に出ている3つ、「愛着がありますか」とか「自慢できますか」とか「どのようなことが自慢できますか」というアンケートですが、半分ぐらいが「愛着がある」と回答しています。ただ、アンケートの対象によって結果が違ってきていると思います。少し前に別のアンケート対象で、本当に若い人、大学生などの人達にアンケートしたところ、結果は「豊橋は住みにくい」となっていました。それから、市民意識調査では「交通の便がいい」と回答した人が46%いるのですが、若い世代は「交通の便が悪い」と回答した人が半分ぐらいでした。やはり若い世代には、豊橋は住みにくいと思われているのではないかなと思います。長く住まない良さがわからないという意見もあるのではないかと思います。

人事課長

人口の流出と流入の率で見ますと、豊川の方が流出よりも流入の方が高い状態となっています。豊橋は逆の状態になりますので、いま委員がおっしゃったように、ひょっとしたら若い世代が住むのは豊川とか、ちょっと離れたところに住んでいる可能性もあります。

委員

色々聞いてみると、豊川の方が土地が安いというのを聞きます。かつ、国府駅の近くとか名古屋へ通うにはやっぱり便利ということで豊橋から引っ越してくることもある。

ただ医療は豊橋の方がいい、という意見が多いです。

会長

お二人から資料8の過去3か年の調査結果比較の話が出たのですが、こういう結果を受けて、本来充実していなければいけ

ないところが進んでいないだとか、あるいは皆さん色々な見方があると思いますが、そのことと、報酬との関係をどう捉えるかにぜひ結び付けてください。こんな状況でこんなことがあっていいのか、という率直な意見があってもいいと思います。ここまでいいと言っているのだから、もう少し報酬を上げてほしいだとか、その辺は皆さんの意見が非常に重要になりますので、ぜひ思うことを述べてほしいです。

委員

市長の給料や議長の給料は、妥当と思います。ただ、あて職の様なものがとても多いと思います。市長は156と書いてあるけど、出ていく協議会が年間すごく多くて、それが1つについて年に3回、4回あり負担が多い。もう少し仕事の内容を考えていかないといけないと思います。協議会があることによって、予算化も必要になってくるでしょう。今は必要以上に多いと感じるし、予算の無駄遣いの1つではないかと思います。また、労力的にも大変なことだと思います。市長は朝から晩まで、日曜日でも夜遅くまで働いています。そういうのを見ているともっと給料を上げてほしいとも思いますが、今はそんな世の中ではないですね。景気が悪かったり、災害でやられて一般市民は本当に大変な思いをしている。日本の半分ぐらいが大変な時期だと思いますので、給料は据置きという形が一番いい気がします。

委員

先程、公務員の方の給料は毎年上がっている、と説明がありましたが、私どもでもアルバイトの最低賃金は毎年上がっています。この10年間で時給は190円くらい時給が上がっています。一日8時間働ければ1600円、10年前と比べれば上がっている。そうするとそれに合わせて社員も全部見直さなければならぬ。企業にはものすごい負担になっている。年間、何百万、何千万の負担になっている企業もあるとは思いますが、で

は市長や市議会議員の方たちの報酬はどうかと考えますと、市のみならず県でも給料が一律であるということは市場原理では全く考えられないやり方と思います。人事院勧告を考えながら、豊橋市独自のやり方を取り入れると、豊橋市がモデルケースになる、豊橋市はこういうことやっているらしいぞ、という見本になれば豊橋市がちょっとは宣伝になるかな、アピールできるかなとも思ったりもしました。今年が改選年度であるということから、30代～70代の議員さんがみえるということをしきおっしゃいましたが、入ったばかりの議員の方が、すぐに給料が上がるのはあり得ないことですので、今年は据置きが妥当であることはよくわかります。

10ページにあります、給料を上げた豊田市、岡崎市等の理由というのはわかりますか。

人事課長補佐

個別に事務局から問い合わせをさせていただきましたが、岡崎市では中核市内の順位や経済状況等、様々なものを参考に、報酬額の引き上げを検討されたそうです。

委員

私は順位など、参考でいいと思います。あまりにも下がっていたり、あまりにも上の時は考慮すべきですが。私は豊橋市の位置づけ、上等じゃないかと思います。ですから近隣の浜松の2番目が豊橋というのも、致し方ないなという判断をしました。

人事課長補佐

同じく長野市についても同様でして、県内の市、それから独特だったのは長野県の水準を考慮に入れているところに本市との相違がみられました。ただ考え方は基本的に一緒で、県と県内市と中核市の中で、市の財政力、状況等を考えた時にどれ位上げるのが適当なのか、ここで繰り広げられている同じようなことを踏まえて、決断をしたということです。

- 会長 一律はおかしいとなると、何か提案はありますか。
- 委員 おかしいというか、やる気がなくなります。6 か月前に入ったばかりで右も左もわからない人と、何回も当選している人が一律というのは納得いかない、やる気が出ないなど。
- 会長 今回、公務員については、若手の世代も重視すると、子育て世代を初めとして次の世代を作っていかなければいけない。逆にシニアというか、僕らのところはもう少し軽減するというのが仮にそれが1つの考え方だとすると、議員についてもベテランだから、という考えだけではないのかと。
- 委員 一律でもいいのですが、プラス α 、マイナスを取り入れるやり方を豊橋独自でできればいいのかなと思います。
- 委員 評価の仕方が問題です。評価が目に見えてこない。
- 委員 そうです。何をやったか、何を成功させたか。
- 委員 政務活動費の領収証をホームページなんかで見られるといいですね。
- 会長 豊橋市には、市議会基本条例があるわけですが、基本条例に即して議員活動をできているかどうかの、例えば内部検証というのは、されているのですか。つまり、こういった議員報酬並びに政務活動費を活用して議会活動を行うということを毎年やってはいるのですが、それが適正に活動がされているのかどうかの内部検証と、その結果の公表がされていないと思います。それが先ほど話題になった、だから結局一律になってしまっているということに結び付くのではないのでしょうか。その内

部検証を誰がやるかとか、どういう基準でやるかは考えなければいけないですが。検証して、それを市民の目に触れる形で今日はこんな活動しました、こんな成果を出しました、こんな議員提案をしました、一方では委員会での発言が一切ありません、と。いわば報酬に見合う活動をしたか否かの検証と報告がきちんとされるようになっていけば、今のような格差、というのは十分考えうるのではないのでしょうか。

委員 むしろ議員の方たちから、一律ではおかしいと言ってくれるぐらいの元気のある市議会議員であってほしいなと思いますね。

委員 最終的には彼らは4年に1回審議されている。議会もテレビでしっかり顔を映している。選挙で市民が評価していくというのが、今のところの議員に対する評価の仕方だと思います。

委員 しかし票は1票しか入れられません。でも、今の話はわかります。

会長 一度議員の方に意見を聞いてみたいというご提案をいただくのであれば検討はしますが、今年は特にそういう予定はしていませんので、大多数についてどうしても出されてくる情報だけでは評価しきれないというのは常にあります。4年に1回の選挙と合わせて、毎年こういうことをやっていますので、なんらかの検討する材料を作って、結果を公表していく。それが給料に反映されるよう提案するというのは大事かと思います。

委員 立場上、議員さんと接触することが多いんですが、今言われたような不公平、一律がおかしいという話が出てきたことはこれまでありません。言わないだけなのかもしれませんが。色ん

なことをしている議員もいれば、議会しか出ない議員もいて、同じ報酬が出るというのは、おっしゃる通りだと思います。ただ会長が言ったような、何かやったことに対して誰がそれを評価するのか。議員がやることというのは、自分を応援してくれる支援者に向けてやることもあるので、市民全体が評価できるものかどうかというのは、内容によって違うこともあると思います。

ただ色んなことやっている人はやっているし、何もやらない人もいる、ということは聞きますので、一律だと不公平だとは思いません。

会長

行政の方は、例えばまち・ひと・しごと創生総合戦略で顕著になったように、KPI を明記して、それをすべく努力して達成しないと、どうして達成できなかったのかという検証をして、次に進んでいただくということをやっていますよね。仮に4年に1回選挙があっても、その都度、投票行動のための基準にもなりえるような、議員活動のKPI ってあっていいのかもしれないと思います。それで芳しい成果を出せなければ、例えば、議員報酬の8 掛け、まあまあいったなら100、よく頑張ったなら110%とか、仮に3 段階にしてみるなど。やはり活動目標があって、それを達成したか否かというのは全地域あるいは特定の地域に関わらず、本来は評価の対象として持つべきかもしれないですよね。むしろこの委員会でヒアリングするというよりは、検討会、検討して、次は来年度になるかもしれないですけど、それに向けて各委員、準備をしていただいて、提案していただくというのもいいかもしれないですね。

委員

市会議員の方にアンケートはいかがですか。一律でどう思うか。無記名でいいですから。本音を聴けるといいかなと思います。

- 委員 無記名なら正直な気持ちが出るかもしれませんね。
- 会長 他の委員の方はいかがでしょうか。
- 委員 皆さんおっしゃることがごもつともだなと思って聞いていました。私も市長・副市長・議員はKPIがしっかりしていたほうが、市が良くなるために何をしていくべきか、というのが特別職の皆さんに期待するところだと思うので、市が色んな政策や計画を立てる訳ですから、KPIを策定してそれに向かって、特別職のみなさんがどういう活動をしていかれるかを、評価できるといいなと思っています。ただ、なかなか点数をつけるというのは、誰がつけるのかもありますし、難しいところだなと思います。
- 会長 他市ではどうですか。
- 人事課長 現段階で把握していませんが、議会の割と大きな比準を占めるのが、行政のチェック機能というところですね。市長側が独善的に動かないように、議員の方が予算の使い方をメインにきっちりチェックをしていく。あるいは執行されたものについて、そういう使い方良かったかをチェックするという、議員個人の活動もさることながら、そういったチェック機能も議会にはかなり求められているという風に考えております。議員の個人の活動の部分の評価、本来議会がなすべきチェック機能の部分とこのあたりの点数化はどこの自治体も考え始めると悩むのではないかなと思いました。
- 会長 そもそもKPIのような判断指標を作るかどうかという以前に、その必要性があるかどうかということですね。今の報酬の

あり方についても、現状でいいような気もする一方で、もう少し格差があってもいいのではないかということ巡って、議員がどう考えるかという意見徴収を、簡単なアンケートでも、やってみたいですかね。皆さんどうですか。

人事課長

事務局のほうで、まず全国の自治体の議会事務局側に、どんな議員活動、政務活動費の使い方がどうだったら適正なのかといった部分の評価の在り方ですとか、先程から出ている KPI の形で指標を持つような動きがあるのかなのか。こういったところから色々な情報収集をした後に、その結果を皆様方に、お示ししたうえで、再度議論するのはいかがでしょうか。

会長

そうしましたら、今ご提案いただいたように、まず実態がどうなのかを事務局サイドで調べたうえで、調査資料を、私や会長代理のほうに最初に見させていただいて、それを委員のみなさんにお伝えしたいと思います。その後、委員のみなさんの意見を聞くようにしていきたいと思います。

それでは、皆さんのご意見をいただきましたので、今回は市議会議員の議員報酬及び、市長・副市長の給料の額については、現行額に据置きということで、この点についてはよろしいでしょうか。

(委員一同、異議なし)

会長

今後については、今申し上げた通りです。それでは、時間もまいりましたので、本日の審議会は以上で終わりとさせていただきます。ありがとうございました。